

予算審査特別委員会で4年度予算を審査

議長を除く37人の議員を委員とする予算審査特別委員会を設置し、4年度一般会計予算など当初予算議案15件を審査しました。4日間にわたる審査結果は、25日の本会議で委員長が報告しました。

4年度当初予算の概要

○一般会計	1276億2000万0000円	前年度比7.4% ↑
○特別会計	575億6213万0000円	前年度比0.1% ↑
○企業会計	318億1755万8000円	前年度比3.0% ↑
合計	2169億9968万8000円	前年度比4.7% ↑

1日目 歳入全般と、市長公室、総務部、財政部、市民部、玉山総合事務所などの歳出を審査

問 個人市民税の現年課税分を3年度当初予算と比べて6.0%の増加と算定した根拠は。

答 県内経済情勢報告の総括で景気改善の傾向判断が続いていることや、総所得の85%を占める給与所得における増加傾向を踏まえ、推計を行った。

問 ふるさと納税による寄付金の増額に向けた魅力ある返礼品の検討状況は。

答 現行のホテル宿泊にワカサギ釣りなど、盛岡ならではの体験を組み合わせた体験型の返礼品のほか、他自治体との共同返礼品の開発などを検討する。

このほかの主な質疑

- ・ガバメントクラウドファンディングの取り組み
- ・自主防災組織の活動支援
- ・滞納処分の適正な実施
- ・市政広報におけるLINEの活用
- ・自治公民館整備事業の拡充
- ・都南村合併30周年記念事業



体験型など魅力ある返礼品検討を

2日目 保健福祉部、子ども未来部、教育委員会などの歳出、市立病院の歳入・歳出を審査

問 福祉ニーズが複雑化し、縦割りの支援体制では対応が困難だが、部局横断的な対応が可能となる支援策は。

答 市社会福祉協議会に設置している相談支援包括推進員を配置したワンストップ相談窓口の機能を強化して、多くの専門家と連携した解決支援に取り組む。

問 コロナ禍で児童生徒が学校に行くことができない場合の学習機会の確保に向けた取り組みの状況は。

答 自宅待機中の小中学校の児童生徒の一部に対し、自宅のパソコンでオンライン会議システムを利用して授業を視聴する取り組みを試験的に行った。

このほかの主な質疑

- ・医療的ケア児への新型コロナワクチンの優先接種
- ・保護者が利用しやすい児童センターの運営
- ・産後ケア施設の増設
- ・市立病院の経営と見通し
- ・公民館へのWi-Fi整備



3日目 交流推進部、環境部、商工労働部、農林部などの歳出を審査

問 盛岡地域のスプレー缶排出ルールの変更について、変更内容と周知啓発の方法は。

答 穴開けを不要とし、可燃ごみと同日に収集する方法に変更予定であり、チラシ配布や収集場所への看板設置などでルール変更と適切な分別を周知啓発する。

問 地域活性化企業人制度の活用予定と人材確保に向けた取り組み状況は。

答 デジタル分野での活用を検討しているが、派遣のめどは立っていない。公募よりも個別交渉が有効であり、企業誘致などで市と関係のある企業などと個別に交渉する。

このほかの主な質疑

- ・(仮称)市民総合文化祭の概要と目的
- ・(仮称)盛岡南地区新産業等用地の名称
- ・観光施策の今後の方向性
- ・集落支援員活用事業の詳細と配置目的



排出方法が変わるスプレー缶

4日目 建設部、都市整備部などの歳出、上下水道部の歳入・歳出を審査

問 通学路の緊急合同点検により明らかになった要対応箇所は、緊急性に応じて分類し計画的に対応すべきでは。

答 2年度の点検で確認した箇所は、対応する事業主体ごとに区分し、整備する時期を整理しながら対応することとしている。地元へもフィードバックしながら対応する。

問 (仮称)内丸プラン素案作成業務委託の発注方法と受託者の想定は。また、内丸プランで想定する期間は。

答 公募型プロポーザル方式での発注を想定しており、都市計画や地域づくりなどに実績がある事業者を想定している。4年度から5年度で基本的な計画の策定を見込む。

このほかの主な質疑

- ・除排雪事業の当初予算額と実際に要した事業費の推移
- ・空き家バンク制度の充実と活用促進に向けた周知
- ・盛岡城跡公園芝生広場の整備状況と今後の見通し
- ・経年管の更新状況と浄水場の老朽化対策



点検で確認した危険箇所への対応

常任委員会の審査

各常任委員会を開き、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長が、14日および25日の本会議で報告しました。

総務 常任委員会

3年度一般会計補正予算、4年度一般会計補正予算など議案18件について審査しました。審査の過程で、関係人口を可視化する仕組みの構築や、デジタル化による未来社会創生事業の狙いとデジタル化に伴う課題などについて質疑がありました。いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第52号】
令和4年度盛岡市一般会計補正予算（第1号）

問 デジタル化による未来社会創生事業の狙いや事業内容は。

答 産業や暮らしなど各分野にデジタル化の恩恵を取り込みながら、社会全体が有機的に結び付き、市民がウェルビーイングを実感できる社会の実現などを目的とし、デジタルを活用したまちづくりの総合戦略を策定する。市が策定主体だが、デジタル分野の技術的な進歩に対応するため、外部コンサルの支援を得ながら事業を進める。

教育福祉 常任委員会

3年度一般会計補正予算など議案12件について審査しました。審査の過程で、ひとり親等働き方支援事業の実績と就業支援の詳細などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。また、請願3件を審査し、いずれも不採択とすべきものと決まりました。

【議案第39号】
令和3年度盛岡市一般会計補正予算（第12号）

問 小中学校のトイレ改修は児童生徒や保護者からのニーズが高いが、前倒しで実施する小中学校のトイレ改修工事の完了時期と、今後の整備計画は。

答 前倒しで実施する改修工事は、4年4月に契約事務に着手した後、速やかに工事を実施する。今後は、市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画で、7年度までに小中学校校舎や体育館の43施設のトイレを洋式化する。

産業環境 常任委員会

3年度一般会計補正予算など議案7件について審査し、いずれも可決すべきものと決まりました。また、令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願は採択すべきものと決まり、水田活用の直接支払交付金の見直しの中止を求める請願は、不採択とすべきものと決まりました。

【議案第52号】
令和4年度盛岡市一般会計補正予算（第1号）

問 中心市街地に整備をする公衆無線LANの整備範囲は。また、市の公式ホームページなどに誘導するQRコード付きWi-Fi接続説明板について、企業の協賛を募るなど効果的な運用をしては。

答 盛岡駅から八幡町までの範囲への面的整備を予定している。QRコード付きWi-Fi接続説明板は、さまざまな可能性があるもので、企業協賛なども含めて今後の展開を検討する。

建設 常任委員会

3年度一般会計補正予算、3年度水道事業会計補正予算、盛岡市改良住宅条例の一部改正など議案16件について審査しました。審査の過程で、3年度の除排雪の状況や水道事業における給水収益の増額要因などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第39号】
令和3年度盛岡市一般会計補正予算（第12号）

問 公共交通利用促進対策事業の予算が約2100万円減額されているが、減額理由と今後の事業への影響は。

答 交通系ICカードを導入するバス事業者への補助金について、新型コロナウイルスの影響による半導体などの不足により機材調達ができず、3年度内に一部の車両に導入できなくなったため、補助金を減額した。今回減額した分は4年度補正予算で改めて対応する。

ロシアのウクライナ侵攻に抗議し非難する決議（全文）

2月24日、ロシアは国際社会の声を無視し、「自衛」を口実として、隣国ウクライナへの軍事侵攻を開始した。

ロシアの武力による軍事侵攻は、幼い子どもを含む多くのウクライナ市民の尊い命を奪い、負傷者は多数、多くの建物が砲撃され炎上。戦火を逃れ国外退避する大勢の市民が過酷な避難所施設での生活を余儀なくされている。

力による現状変更は、戦後、長年をかけて築き上げた国際秩序の根幹を揺るがす暴挙であり、領土保全、武力不行使等を規定する国連憲章と国際法に明らかに反する行為である。さらに核兵器で国際社会を威嚇することは、核戦争の危惧を抱かせるものであり、唯一の戦争核被爆国として断じて容認することはできない。

よって、盛岡市議会は、ロシアによる軍事的暴挙に対し、抗議と非難の意を強く表明するとともに、ロシア軍の即時・完全・無条件の撤退を強く求める。

今、国際社会が向かうべきは、国連憲章の前文にある「寛容を実行し、且つ、善良な隣人として互に平和に生活し、国際の平和及び安全を維持するためにわれらの力を合わせる」ことである。

盛岡市の都市宣言である、「平和都市宣言」（昭和33年）、「非核平和都市宣言」（昭和59年）に基づく、世界の恒久平和の実現を強く希求する。

以上、決議する。

令和4年3月3日

盛岡市議会

議会活動レポート

常任委員会や特別委員会が視察や調査を実施

教育福祉常任委員会・新型コロナ等対策特別委員会連合調査会

1月17日に2つの委員会で連合調査会を開催し、市保健所からコロナ禍を受けた保健所の組織体制の課題について、新型コロナワクチン接種実施本部から新型コロナワクチンの状況について説明を受けました。

総務常任委員会

1月19日に遠野市と陸前高田市の視察を行い、遠野市では、で・くらす遠野ほか1項目について、陸前高田市では、高田暮舎^{たかたぐらしや}ほか1項目について説明を受けました。また、1月31日に勉強会を行い、市の移住・定住の促進や関係人口の創出などについて説明を受けました。

持続可能な地域づくり特別委員会

2月1日に勉強会を開催し、企画調整課から市のSDGsの取り組みについて、市民協働推進課から市男女共同参画推進計画についてそれぞれ説明を受けました。

中心市街地整備特別委員会

2月8日に勉強会を開催し、経済企画課から中心市街地商店街の振興に向けた取り組みについて、平時における商店街への支援とコロナ禍における経済対策に関する説明を受けました。

産業環境常任委員会・新型コロナ等対策特別委員会連合調査会

2月9日に盛岡商工会議所と新型コロナウイルス感染症による市内経済への影響について意見交換会を行いました。

市政調査会が定期研修会を開催

2月3日に研修会を開催しました。道の駅萩しーまーと専務理事の中澤さかな氏から道の駅整備と地域活性化について、県DXアドバイザーの村上雅人氏からDXの推進についての講演を聞きました。